



# 第十八回 民話の語り駅伝

九月二十六日(日)夕鶴の里友の会(伊藤進司会長)主催の第十八回「民話の語り駅伝」が夕鶴の里語り部ホールで開催されました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりましたが、本年度はマスクの着用や手指の消毒、換気など感染予防対策を徹底して行うとともに入館ガイドラインに基づき規模を縮小した開催となりました。

参加者は一本の棒を掛けて語り、次々と語り手に繋いでいきました。



安部晶子さん  
「こわがり太平」



堀敏子さん  
「お国自慢」

## 夕鶴の里資料館報

令和3年10月10日

第 130号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

往路



今年松橋信子さんが「稲株昔」を語り終えゴールしました。



伊藤進司友の会会長  
「うそ八百両」



朗読劇  
「大木の秘密」

復路

## 民話の語り駅伝

放映予定

第十八回民話の語り駅伝の様子がNCVさんで放映されます。

往路

十月七日(木) 九時三〇分  
十月十四日(木)

十月二十一日(木) 十四時  
十月二十八日(木)

十月十日(日) 二十二時

復路

十月七日(木) 十四時  
十月十四日(木)

十月二十一日(木) 九時三〇分  
十月二十八日(木)

十月二十四日(日) 二十二時

毎回、一時間三〇分の番組です。是非ご覧ください。

## 昔のあそび

まゆ玉で

コサージュを作ろう

九月二十五日(土)に夕鶴の里昔のあそび「まゆ玉でコサージュを作ろう！」が開催されました。

半分にした繭を針で薄く剥していき、それらを花びらの形にボンドで貼っていきました。最後に葉っぱと安全ピンを付けて出来上がり。

繭を1枚ずつ剥すのは大変そうでしたが、親子で楽しんで制作していました。



次回の昔のあそびは十一月二十日(土)に「押し花カレンダーを作ろう」です。是非ご参加ください。

## 特別展 印刷された近代展 開催中

当館では、十月九日(土)より特別展「印刷された近代展」を開催しております。

数々の印刷物を通して近代とはどのような時代だったのかご覧いただければと思います。

展示は来年一月二十九日(土)までですが、十二月に資料保護の観点から一部展示替えを行います。それまでしか観ることができない資料もございますので、是非ご来館ください。

## 初公開!



漆山の器械製糸の発展に尽くした多勢長兵衛製糸の商標(明治中期)

## 文明開化の世の中だもの

特別展の解説書をお渡ししております。来館の際は職員にお声掛け下さい。



今回の特別展では明治時代以降に作られた印刷物を展示しています。それでは近代の人はどのように生きていたのか、明治時代のある女性を例に見てみたいと思います。篠田とくは「文明開化」という言葉が気に入る二言目には「文明開化の世だもの」が口癖でした。昔からの習慣や儀礼など一切の古きを捨て新しい簡略主義を尊び「これからの若い人たちにこんな面倒は出来やしない。私は篠田の家付きの一人娘だから皆壊しておいてあげるよ。」

御先祖だって私のしたことだから文句はあるまいさ。罰が当たるとは私がいかに引き受けてしまうし。文明開化の世の中はけつ(結局)手早いのがいいんだからね」

と言っていたそうです。彼女は五代音羽屋(尾上菊五郎)のファンで、彼が文明開化の芝居をする時は見逃さず。「何しろ文明開化の世の中は芝居にしても面白いよ」などと言っていました。



五代目尾上菊五郎

とくさんの言う「文明開化」とは当時はハイカラであること指していたようです。新しい時代の文化を戸惑いつつも受け入れ、明るく生きていく新時代の風景でした。

〈参考文献〉  
『明治百話』